

## 第6回 「計画」を作るのは誰のため？・・・「PDCAサイクル」とは

このメルマガが届く頃には、皆様の法人・事業所の新年度の「事業計画」は策定作業中でしょうか。

そういった「計画」は、何のために作るのでしょうか？ 「理事会にかけるため」「役所に提出するため」・・・等々があると思いますが、それだけで終わらせるとすればもったいないことです (>\_<)。

経営学の立場からは、「計画」を策定すること自体が、ある経営目的（例えば「利益を上げて株主に配当する」「顧客に価値を提供する」「雇用を維持する」）を達成するための、具体的な手段なのです。

「PDCA (P l a n、D o、C h e c k、A c t i o n) サイクル」という概念をお聞きになったことがあるでしょうか。『「工賃向上計画」策定・実現ノウハウ集』では、これを「計画し、計画を実行し、その結果を分析し、次に活かす (次の計画を立てる)」と意識しました (異なる訳もあります)。

変な例えですが、運動によって1年で〇〇キロ体重を減らす、と決意したとしましょう。それだけで、目標を達成できるでしょうか？ 普通はできません。

「まず1ヶ月目には、週に4日は1時間以上歩く、月に2回は自転車で遠出する・・・」と具体策を立てる必要があるでしょう。それが「計画」です。そしてとりあえず「実行」しようと思います。そして1カ月経ったとき、「計画の7割しか実行できなかった。意志が弱かったり、天気が悪かったりしたから・・・(+\_+)」と結果を「分析・評価」します。そして、「当初の計画は少し無理があったので、その9割に下げよう。そのかわり、もっと意志を強く持ち、雨の日でも歩くようにしよう♪。休日が雨だったら、自転車の代わりに屋内プールで泳ごう。」と、「次期の計画」を立てます。

毎月これを繰り返せば、1年後には、無計画に取り組んだ場合に比して、目標にずっと近づいていることでしょう。

皆様の法人・事業所の「事業計画」は、究極的には、利用者の「福祉」や「自立」を目的としていると思います。ですから、このように「PDCAサイクル」に沿って正しく使うことができるものであれば、理事会のためでも役所のためでもなく、最終的には利用者さんのためになるはずなのです。

ただし、その「計画」自体が、抽象的であったり、実行する月日を明示していなかったりするのであれば、より具体的な「実行計画」を別途組む必要があるでしょう。

なお、「計画」を作る理由については、『「工賃向上計画」策定・実現ノウハウ集 第二部 実現へのノウハウ (平成27年度改訂版)』3ページ以下でより詳しくご説明しております。

<http://www.shougai-syuuro.jp/upload/2015050814310759812.pdf>